

優秀施工者国土交通大臣顕彰式典を開催

国土交通省



あいさつする^{どうこしげる}堂故 茂 副大臣



建設マスター顕彰式典

国土交通省が主催した「令和5年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰式典」が11月21日（火）午後、東京都文京区の文京シビックホールで開催されました。新たに誕生した建設マスター459名と建設ジュニアマスター121名に対して顕彰状が授与されました。

自家発業界からは株式会社第一テクノなどから申請があった「優秀施工者国土交通大臣顕彰」（建設マスター）の候補者として4名、株式会社シンワなどから申請があった「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」（建設ジュニアマスター）の候補者として2名。いずれも内発協の平野正樹会長が推薦した6名全員が受賞しました。

（13・14面に受賞者名簿）

同日の顕彰式典の会場では冒頭、司会を務めた国土交通省の事務局が開会宣言を行い、主催者を代表して国土交通大臣（代読・堂故^{どうこしげる} 茂 副大臣）が開会挨拶を述べました。続いて、建設マスター、建設ジュニアマスターの順に、受賞者への顕彰状の授与式が行われました。

その後、受賞者の子弟から寄せられた作文が紹介されました。テーマは「ぼく・私から見たお父さん・お母さんの仕事」。合計30篇の中から1篇が紹介され、建設ジュニアマスターの受賞者である母親と、作者であるお嬢様が登壇して、作者が作文を朗読しました。

また、国土交通大臣顕彰式典に合わせて、国土交

令和5年度は会長推薦の6名が顕彰を受賞 建設マスター4名、ジュニアマスター2名



建設マスター顕彰式典



顕彰状を授与する時苗浩司官房審議官

通省と建設産業人材確保・育成推進協議会（委員長・古阪秀三氏）が毎年共同で実施している社会人の作文コンクール「私たちの主張」、全国の工業高校生を対象とした「高校生の作文コンクール」について、古阪委員長が令和5年度の結果発表と講評を述べました。国土交通大臣賞には社会人が2作品、高校生が1作品が選ばれました。顕彰式典の会場で、入賞作品に対して大臣賞授与式が行われ、受賞者による入賞作品の朗読も行われました。社会人を対象とする「私たちの主張」は「建設産業に従事している方々を対象に、仕事への意識高揚や建設産業のイメージアップを図ることを目的」としています。一方、高校生を対象とする「作文」は「全国の工業高校の建

築学科、土木学科などの在校生を対象に、建設業に対する夢や憧れなどをテーマ」として作品を募集しました。

始めに、顕彰式典では、国土交通大臣（代理・堂故 茂 副大臣）から建設マスター受賞者の全員に対して顕彰状が授与されました。まず、司会者が北海道から沖縄まで地区別に順に、建設マスター受賞者の氏名を読み上げました。次に、氏名を読み上げられた受賞者は次々と起立して、正面に登壇した国土交通大臣（代理・堂故 茂 副大臣）に向かって黙礼しました。地区別に、受賞者全員の氏名を読み上げ終わると、全員で正面に向かって黙礼した後、着席しました。

最後に、再び建設マスター受賞者が全員で起立して、その中から受賞者の代表者が登壇しました。他の受賞者や親族、来賓、記者など列席者の全員が見守る中、国土交通大臣（代理・堂故茂副大臣）から顕彰状を授与されました。併せて、記念の建設マスターバッジも受賞者全員に対して贈呈されました。

同様に、不動産・建設経済局長（代理・蒔苗浩司官房審議官）から建設ジュニアマスター受賞者の全員に対して顕彰状が授与されました。まず、司会者が北海道から沖縄まで地区別に順に、建設ジュニアマスター受賞者の氏名を読み上げると、受賞者は次々と起立して、正面に登壇した不動産・建設経済局長（代理・蒔苗浩司官房審議官）に向かって黙礼しました。地区別に、受賞者全員の氏名を読み上げ終わると、全員で正面に向かって黙礼した後、着席しました。

最後に、再び建設マスター受賞者が全員で起立して、その中から受賞者の代表者が登壇しました。列席者の全員が見守る中、不動産・建設経済局長（代理・蒔苗浩司官房審議官）から顕彰状を授与されました。

なお、国土交通省では平成4年度から「優秀施工者国土交通大臣顕彰」（建設マスター）を実施しています。建設産業に従事する方々の社会的地位の向上と、建設産業の振興並びに後進の育成を図ることを目的としており、特に優れた技能・技術を有している概ね65歳未満の熟練技能者の方々を顕彰対象として想定されています。

主な選考要件として、特に優れた技能・技術を持っていること。その裏付けとなる多岐にわたる技能資格・技術資格を保有していること。顕彰式典の開催時点でも常に建設現場の第一線で活躍していること。延べ20年間を超える施工実績を始め、後進の指導育成においても、豊富な実務経験年数を持っていることなど。大臣顕彰の受賞者には「建設マスター」の称号が授与されます。

同様に、平成27年度から「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」（建設ジュニアマスター）を実施しています。建設マスターに達するまでの技能の向上のインセンティブを与えることを目的としています。今後さらなる活躍が期待される優秀な技能・技術を有している概ね40歳未満の若年層の青年技能

者の方々を顕彰対象として想定されています。

主な選考要件として、実務経験年数は10年を超えていることなど。局長顕彰の受賞者には「建設ジュニアマスター」の称号が授与されます。

【令和5年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰 (建設マスター) 受賞者】

(※現住所の北から、氏名・性別・年齢・職種・
勤務先(所在地)の順。)

●**中村 裕二氏**(ナカムラ・ユウジ)・男・50・電気工・ヤンマーエネルギーシステム株式会社(兵庫県尼崎市)

●**中井 明氏**(ナカイ・アキラ)・男・43・機械器具設置工・株式会社第一テクノ(東京都品川区)

●**相田 洋明氏**(アイダ・ヒロアキ) 男・52・機械器具設置工・東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社(東京都港区)

●**瀬戸 勝広氏**(セト・カツヒロ)・男・53・機械器具設置工・株式会社シンワ(東京都中央区)

【令和5年度 青年優秀施工者不動産・建設経済局長 顕彰（建設ジュニアマスター）受賞者】

（ ※現住所の北から、氏名・性別・年齢・職種・
勤務先（所在地）の順。 ）

■遠藤 和樹 氏（エンドウ・カズキ）・男・
30・電気工・宮城ヤンマー株式会社（宮城県

石巻市）

■山下 拓人 氏（ヤマシタ・タクヒト）・男・
33・機械器具設置工・株式会社シンワ（東京都中
央区）